

青公大3年生
遠藤ゼミ5人

県内観光地 動画発信

青 森

青森公立大学地域みらい学科の遠藤哲哉教授のゼミに所属する3年生5人が本年度、自宅などからオンラインで本県の観光を楽しめる動画「オンラインあおもり観光クイズツアー」を制作した。このほど学生らが同大学に集まり、ビデオ会議システム「Zoom（ズーム）」を活用してフィリピンの学生らに動画を紹介し、交流を深めた。

学生らは新型コロナウイルス感染症によって県内の観光産業がダメージを受ける中、オンラインを活用して本県の観光スポットや魅力を世界に発信し、コロナ収束後のインバウンド（訪日外国人旅行）回復を目指そうと動画を制作した。

動画は約30分で、日本語の字幕はあるものの、英語を使用。5人のうち4人はおとし、フィリピンのセブ・ノーマル大学を訪れ、現地の学生らと交流しており、制作に当たり

弘前公園、八甲田…海外学生に紹介も

協力を得た。ズームを通じ、英語の手話を教えてもらうなどし、動画に手話も付けた。

動画では、四季ごとに弘前公園や深浦町、八甲田、八戸市、大間町など8カ所を紹介。このうち5カ所には実際に足を運び、取材した。また、深浦町の国指定天然記念物「北金ケ沢のイチョウ」の樹齢（約千年）など、関連したクイズも取り入れ、視

聴者に飽きさせない工夫をした。

約30人がオンラインで参加。参加者から「アメージング（すごい）」などの声が上がった。

プロジェクトリーダーの林佳汰さんは「自分たちには当たり前のもでも、外国人には魅力的に映ると思う。喜んでもらえてうれしい」、ゼミ長の佐藤凌さんは「動画を通じ、多くの人に青森の良さが伝われば」と話した。

今後、動画投稿サイト「YouTube」で公開する。

（兼平昌寛）



動画「オンラインあおもり観光クイズツアー」を制作した遠藤ゼミ3年生の5人